

栃木放送平成 24 年度第 10 回 3 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 25 年 3 月 14 日(木)午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名
出席委員 6 名
欠席委員 3 名

出席委員名	委 員	鈴木 正 好
	委 員	太 田 照 男
	委 員	竹 内 明 子
	委 員	荒 川 勉
	委 員	岩 村 由 紀 乃
	委 員	高 野 俊 浩
局側出席者氏名	常務取締役	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也
	報道制作部	大 橋 幸 夫

4 議 題

(1)「第 4 回大鍋まつり」について

(2)その他

5 議事内容

(1)「第 4 回大鍋まつり」について

試聴番組：平成 25 年 3 月 3 日(日)放送

「第 4 回大鍋まつり」のおよそ 15 分間を試聴

議題説明：報道制作部 大橋幸夫が番組概要について説明。

次に審議に入る。

各委員からは、

今回はよかったと思う。インタビューに答えてくれた人もよかった。

賑やかさは伝わっていたが、味を伝えるのは難しいと思う。

被災地の状況や観光情報などが伝わった。聴くほうとしては午後のイベントのほうが面白いと思う。鍋の中継は録音などで入れればいいのか。

楽しさは伝わってきたが、3時間は長いと思う。アナウンサーの「食べて」とか「下さいよ」という年長者に対する言葉づかいが気になった。

楽しい雰囲気は伝わった。イベントを拡げるという意味では今後、午後の部をどう取り込むかなどの工夫が必要だと思う。

北茨城の観光PRの数を聞いて驚いた。栃木県も見習わないといけない。

アナウンサーが勢揃いしたということで、局の意気込みが感じられ、ワクワク感が伝わっていた。午後のイベントのPRをして、一日楽しめるイベントであることをもっと出したほうがいい。

来場客にアンケートをとって参考にしたほうがいい。

リポーターが事前に鍋の味見をしておいたほうがいい。

恒例行事として年を追うごとに盛大になるようなイベントになってほしい。

などの意見が出された。当社としては、これらの意見を参考に、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

平成25年度第1回3月期の審議会を平成25年4月18日(木)に開催することを決めて閉会した。

以上